

AI任せにはできない！

運用負荷

を

増やさない

情シス3つの原則



BCC株式会社

もくじ

はじめに なぜ今見直す？

1章 ネットワークコストとは

2章 情シス運用の課題

3章 見直されない理由

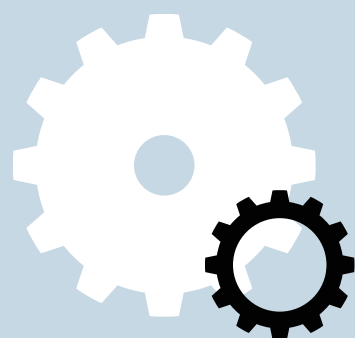
4章 最適化の考え方

5章 外部活用という手

6章 レンタルで負担軽減

7章 まとめ

おわりに



はじめに

なぜ今見直す？

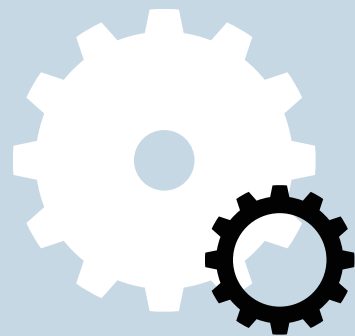
企業のIT環境は、クラウド活用や拠点分散、テレワークの定着により、
年々複雑化しています。

その一方で、情報システム部門は人手不足が続き、
ネットワーク運用に十分な時間を割けないケースが増えています。

本資料では、

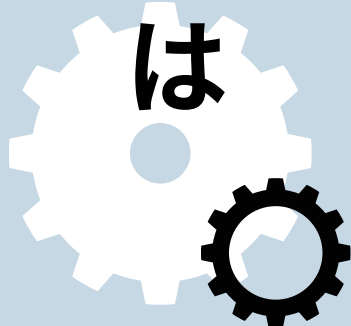
「気づかないうちに増えている運用負荷」＝「ネットワークコスト」に着目し、
情シスの負担を増やさずに、

ネットワークコストを最適化するための考え方を整理します。



第1章

ネットワークコストとは



ネットワークコストというと、
回線費用や機器購入費を思い浮かべがちですが、
実際にはそれだけではありません。
ネットワークに関わるコストは、大きく以下に分けられます。



回線・機器などの直接コスト

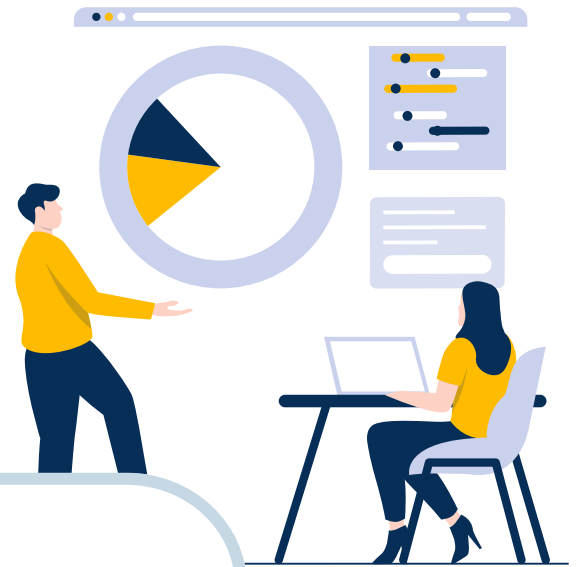


設定変更・管理・障害対応にかかる運用コスト



属人化やトラブル対応による見えにくい人的コスト

多くの企業では、この「見えにくいコスト＝運用負荷」が
把握されないまま積み上がっています。



第2章

情 シ ス 運 用 の 課 題

ネットワークコストが増大する背景には、
情シス特有の構造的な課題があります。



課題 ① 設定変更・管理が 属人化している

- 手作業による設定変更
- ノウハウが特定の担当者に集中



課題 ② ドキュメント管理が 追いつかない

- 最新の構成・設定が分からない
- 障害時に確認すべき情報が見つからない



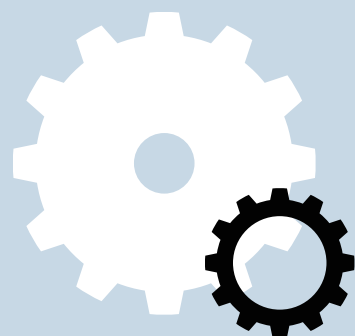
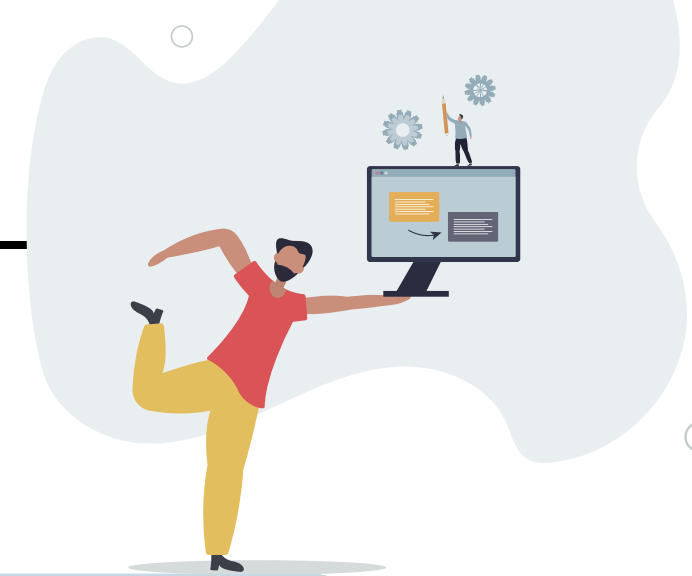
課題 ③ 障害対応に 時間がかかる

- 原因切り分けに手間取る
- 復旧まで業務が停止する



課題 ④ 機器リプレースの 負担が大きい

- 数年に一度、必ず発生する更新作業
- 設計・検討・移行の工数が重い



第3章

見直されない理由

これらの課題が分かっていても、
ネットワークコストは後回しにされがちです。
その理由は、



すぐに売上に直結しない



問題が起きるまで顕在化しない

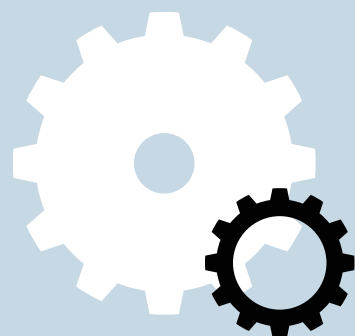


専門性が高く、判断が難しい

といった点にあります。

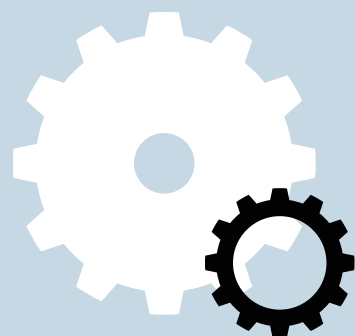
結果として、

「現状維持のまま、気づけば負荷だけが増えている」
状態に陥ってしまいます。



第4章

最適化の考え方



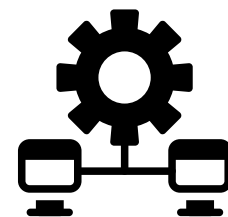
ネットワークコストの最適化は、単なる削減ではありません。
重要なのは、以下の3点です。

これにより、
障害対応や設定変更にかかる工数を減らし、
結果としてコスト最適化につながります。



POINT

1



構成を
シンプルにすること

POINT

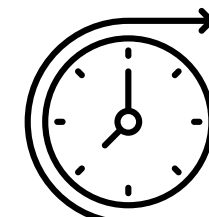
2



運用負荷を
減らすこと

POINT

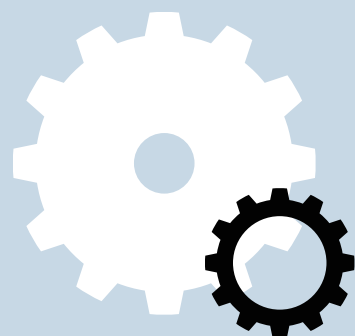
3



将来の変更を前提に
設計すること

第5章

外部活用という手



人手不足が続く中、
すべてを内製で運用することには限界があります。



マネージドサービス活用のメリット

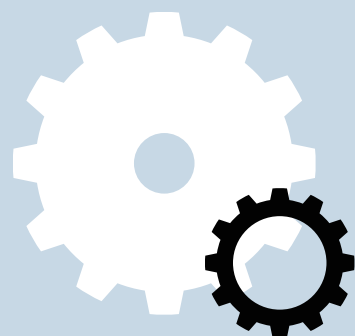
- 設定変更・監視・障害対応を外部に任せられる
- 属人化を防げる
- 情シスは本来の業務に集中できる

マネージドサービスはコスト削減だけでなく、
運用の安定化・業務効率向上という観点でも
有効な選択肢です。



第6章

レンタルで負担軽減



ネットワーク機器は、
故障やサポート終了により、必ず更新が発生します。
レンタルサービスを活用すれば、



初期投資を抑えられる



計画的な更新が可能



急なトラブル時も柔軟に対応できる

といったメリットがあり、
長期的なコスト最適化につながります。





まとめ

運用とコストの最適化とは

＝

情シスの負担を減らし、
安定した運用を実現することです。



見えにくい運用コストを把握する



内製と外部支援を組み合わせる

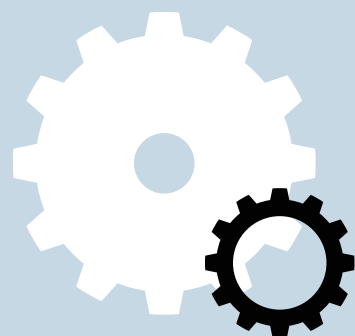


将来を見据えた設計を行う



おわりに

抱え込んでいませんか？



当社では、
ネットワーク構成の見直しから、
マネージドサービス・レンタル活用まで、
情シスの負担を減らすためのご提案を行っています。



現状の運用コストを整理したい



無理のない改善方法を知りたい



お問合せは
こちら

というご担当者様は、ぜひ一度ご相談ください。



お客様の声は
こちら

会社概要

商号	B C C 株式会社
事業所	東京本社：東京都千代田区外神田 6-15-9 明治安田生命末広町ビル 9F 大阪本社：大阪府中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋9F
創立	2002年3月
代表取締役社長	伊藤一彦
カンパニー名 カンパニー長	IT営業アウトソーシングカンパニー 松村健太
主要部門	・ 営業アウトソーシング ・ ソリューション
許認可	一般労働者派遣事業（派27-302361） 有料職業紹介事業（27-ユ-302045） プライバシーマーク認定（第10861424(07)号） 電気通信事業（E-28-03972）
主要取引先	株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ) 日鉄ソリューションズ株式会社 ダイワボウ情報システム株式会社 日本電気株式会社(NEC) 富士ソフト株式会社